



# 2026年3月期第2四半期（中間期）決算説明会

株式会社クロスキャット（東証プライム 証券コード：2307）

2025年11月26日



# 目次

## 【第1部】 代表取締役社長 山根 光則

2026年3月期第2四半期 決算ハイライトおよび事業概要、成長戦略

… P3 ~ 15

## 【第2部】 取締役常務執行役員 山下 智己

2026年3月期第2四半期 決算概要

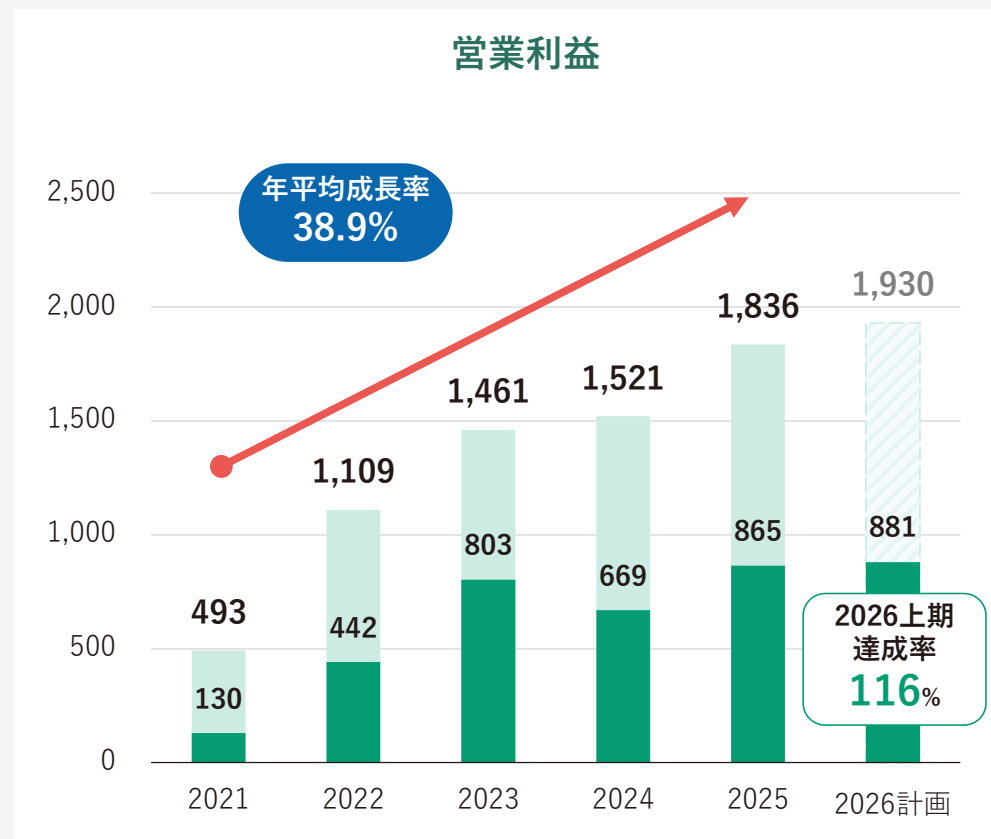
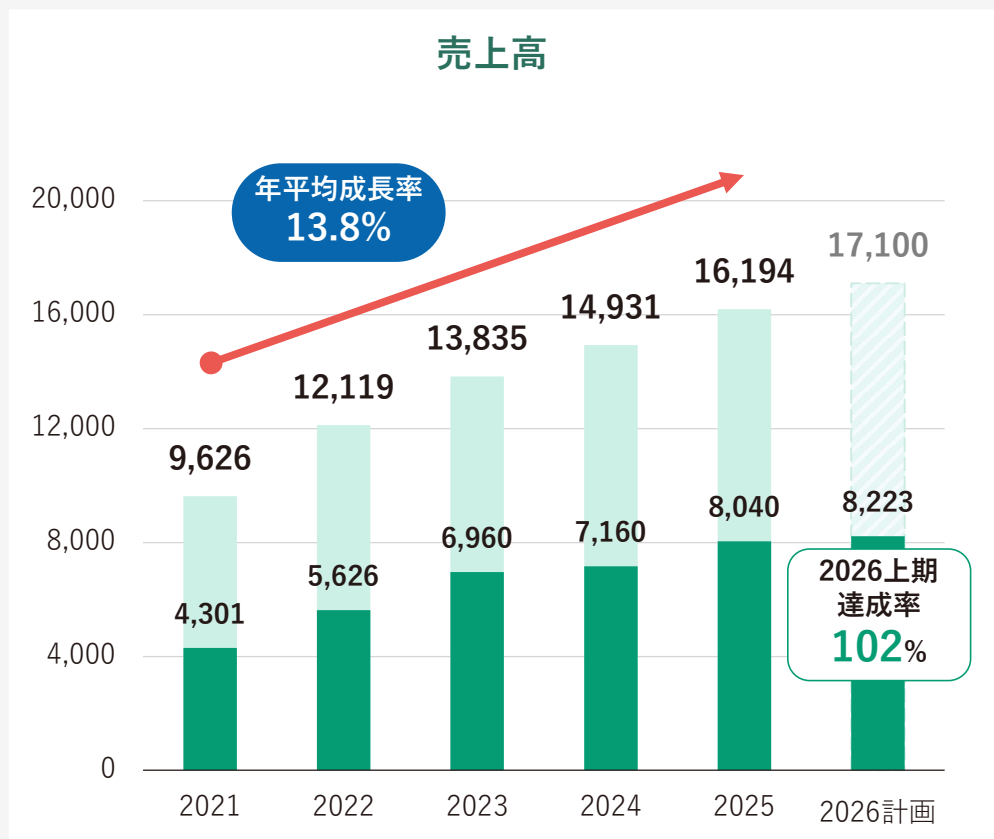
… P16 ~ 24

## 【第1部】

# 2026年3月期第2四半期 決算ハイライトおよび事業概要、成長戦略

## 1. 決算ハイライト

- 上期は過去最高売上高・最高利益を更新。通期では5期連続の増収となる見込み



## 2-1. クロスキャットのご紹介 – クロスキャットについて –



当社イメージキャラクター  
「ペケにゃん」

# 人と社会を繋ぐITイノベーションカンパニー

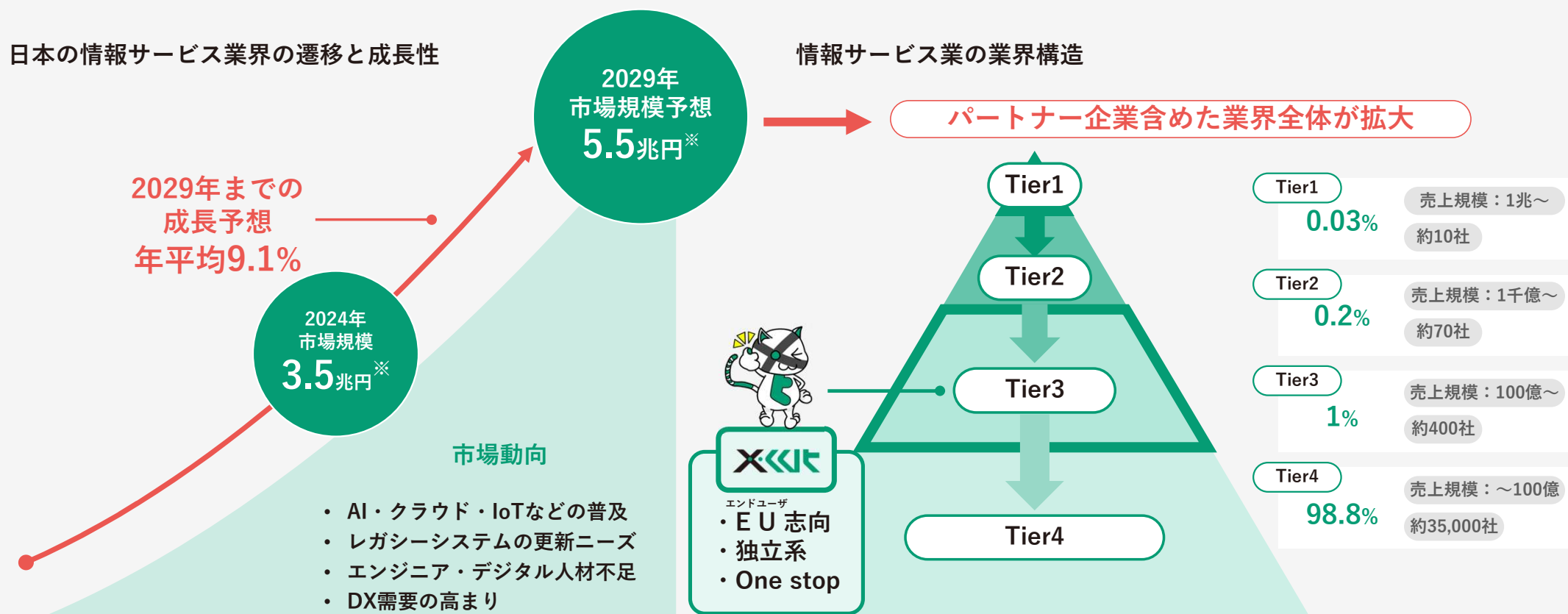
- 創業から約50年、年間1,200件のプロジェクトを支援するなど、様々な業界のシステムを開発
- 銀行やクレジット、保険、官公庁などの公共分野など、社会インフラを支える独立系IT企業

商号	株式会社クロスキャット
設立	1973年6月
代表者	代表取締役会長 井上 貴功 代表取締役社長 山根 光則
上場市場	東京証券取引所 プライム市場（証券コード2307）
本社	東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス

事業内容	システムソリューション（システム開発サービス・BIビジネス） スタッフサービス
従業員数	932名（連結）・595名（単体）（2025年4月1日現在）
グループ会社	クロスユーアイエス クロスアクティブ クロスリード
資本金	1,000百万円
主要得意先	富士通 NTTデータ 国税庁 IBM ライフカード 三菱UFJニコスなど

## 2-2. クロスキャットのご紹介 – 情報サービス業界の成長性について –

- 今後5年間で5.5兆円規模に拡大する情報サービス業界。約4万社の上位「1%」に入る独立系IT企業

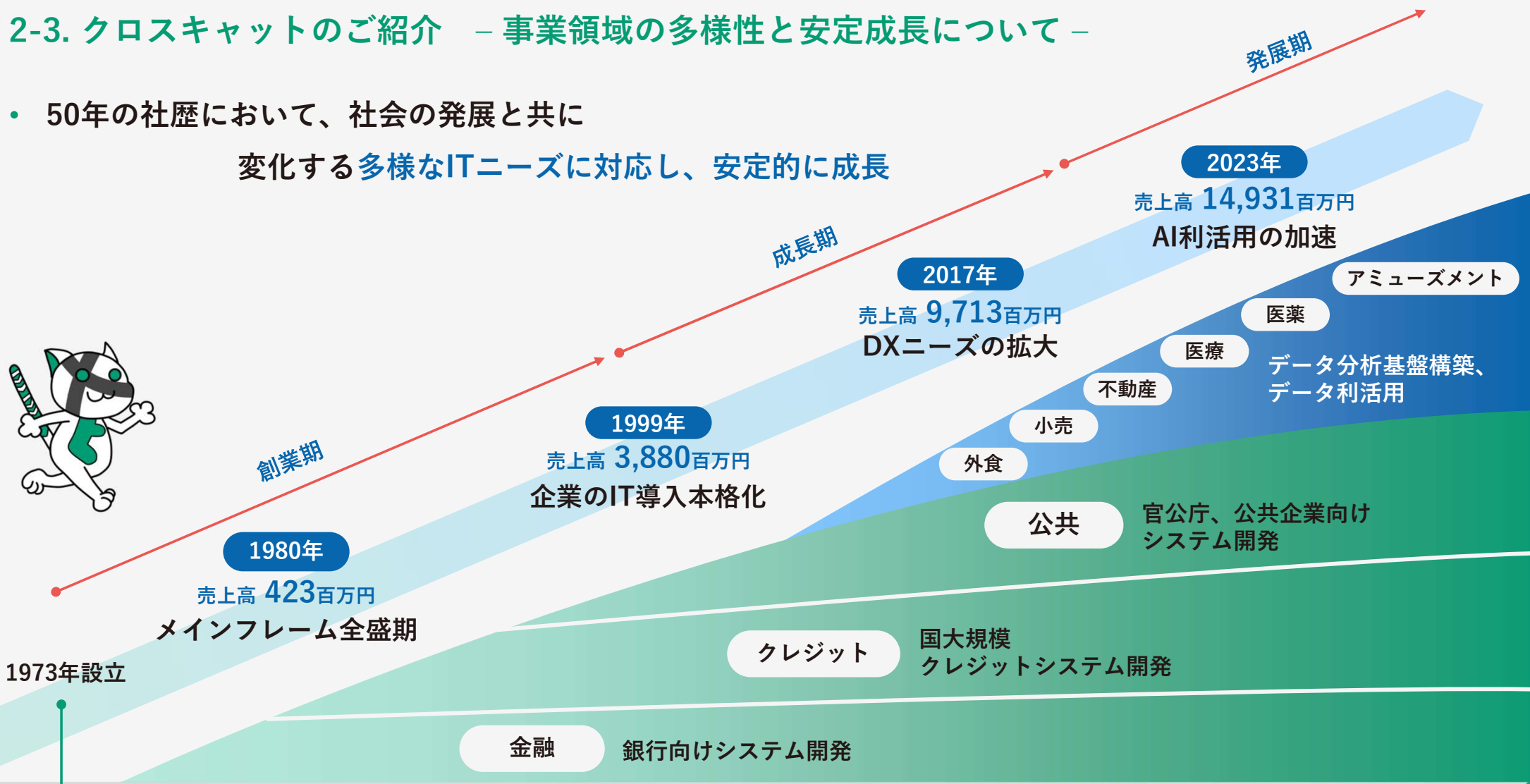


※出典：IDC Japan, 2025/6

※当社調べ

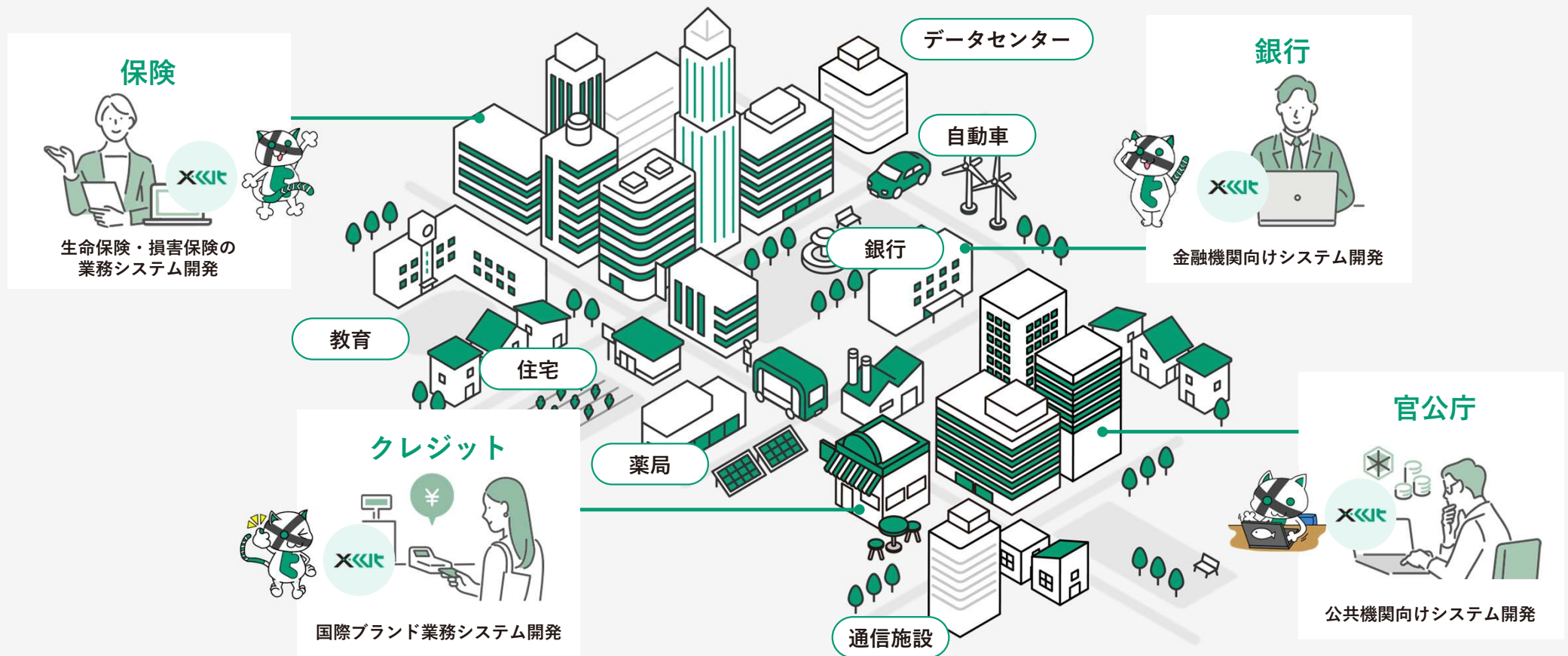
## 2-3. クロスキャットのご紹介 – 事業領域の多様性と安定成長について –

- 50年の社歴において、社会の発展と共に  
変化する多様なITニーズに対応し、安定的に成長



## 2-4. クロスキャットのご紹介 – 社会のさまざまな場面を支えるクロスキャット –

- 銀行やクレジット、保険、官公庁、病院、流通、外食産業など、暮らしの「便利」、「安心・安全」に貢献







## 2-5. クロスキャットのご紹介 – 幅広い業界でのIT支援実績 –

- データ分析基盤構築、クラウド移行から大規模システム開発まで、幅広い分野のお客様にITサービスを提供

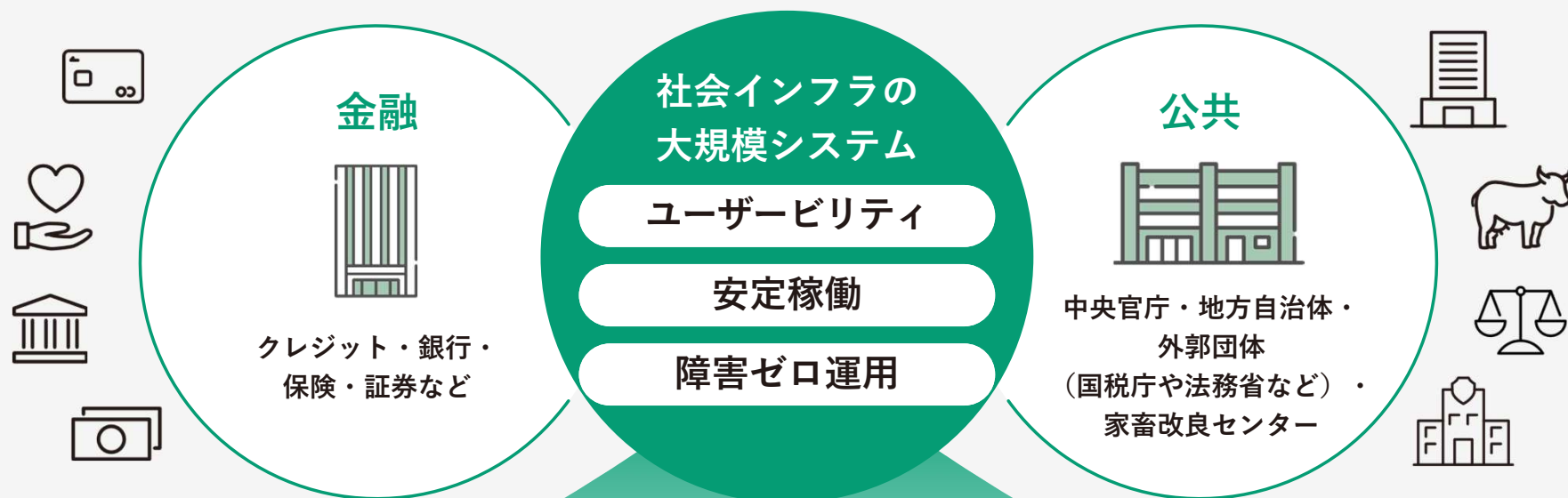
官公庁・公共	金融	外食	医療・医薬
<ul style="list-style-type: none"><li>国税庁</li><li>法務省</li><li>経済産業省</li><li>国政労働省</li><li>林野庁</li><li>独立行政法人家畜改良センター</li><li>公営競技</li><li>公営くじ・スポーツ振興事業</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>大手銀行</li><li>地域金融機関</li><li>大手クレジットカード会社</li></ul>	 	 
	保険	不動産・娯楽	流通・小売
	<ul style="list-style-type: none"><li>大手生命保険会社</li><li>大手損害保険会社</li></ul>	 	 

### 【主な事例】

- クラウドサービスによる国税庁HP「確定申告書等作成コーナー」を構築、電子申告の推進を支援 
- 株式会社壱番屋が進めるDXプロジェクトの支援に向けて、データ分析基盤構築ソリューション採用決定 
- 佐世保中央病院の院内データ分析システムのバージョンアップ・クラウド移行を実施 
- 株式会社東急レクリエーションが進める映画館の上映スケジュール作成業務効率化プロジェクトを支援 

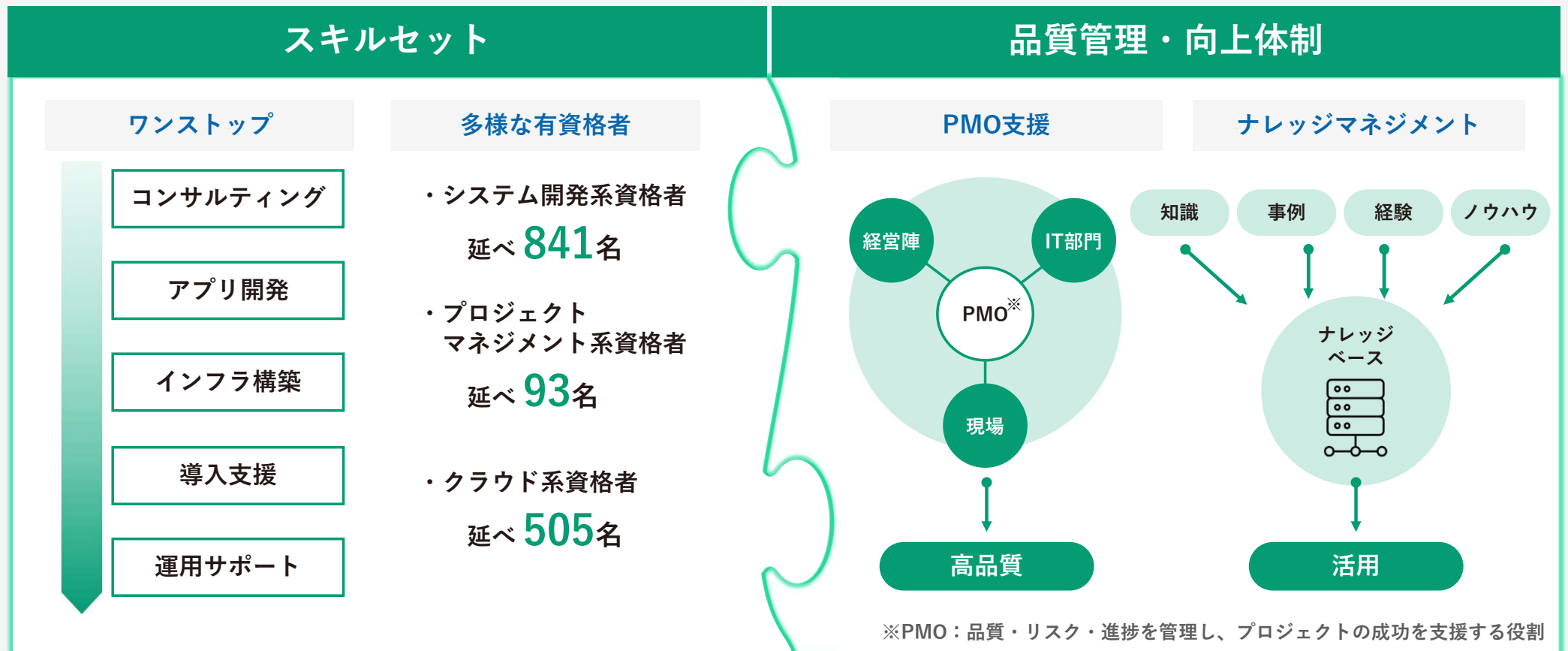
### 3-1. 当社の強みと成長戦略 – 主要な事業領域について –

- 専門性が高い大規模社会インフラシステムをしっかりと支える**確かな技術力と厳格な品質管理**



## 3-2. 当社の強みと成長戦略 – 技術と品質管理 –

- 「多様な専門スキル」 × 「組織的な品質管理体制」 により、年間1,200件を超えるITプロジェクトを遂行

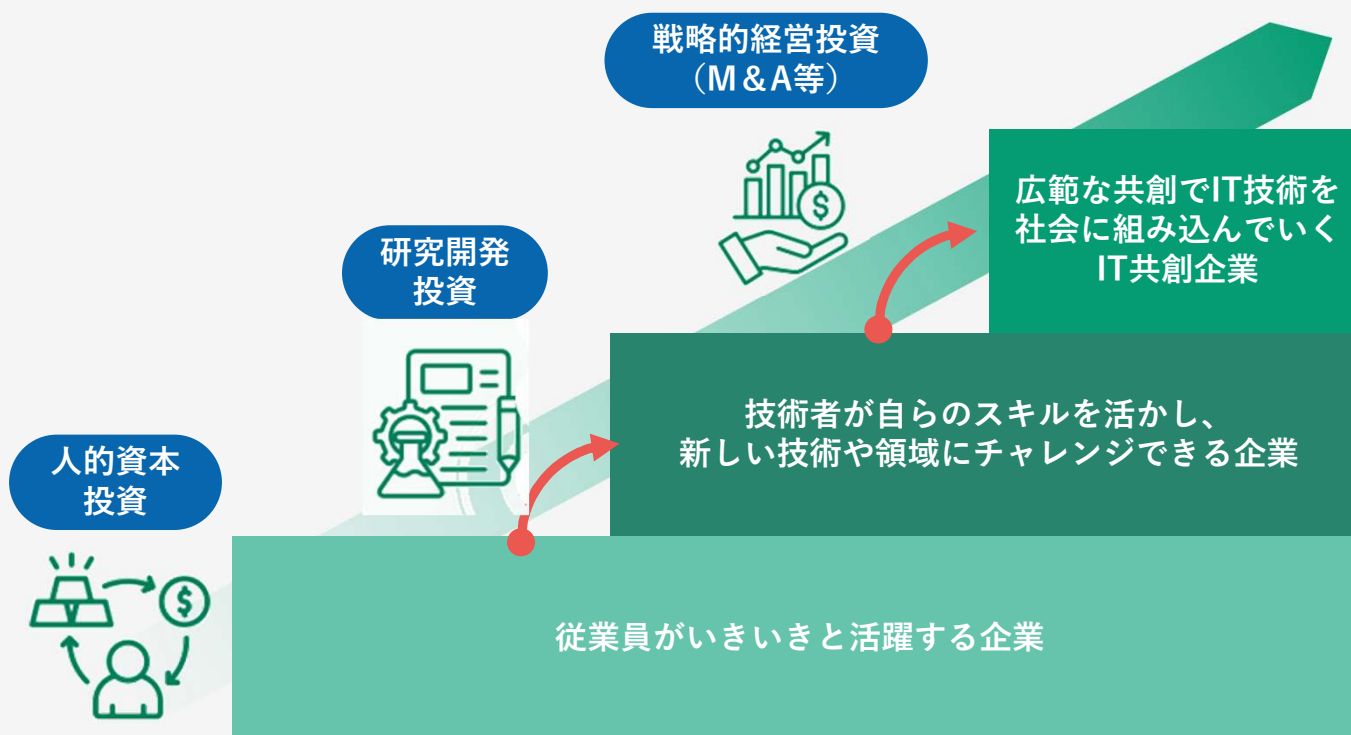


### 3-3. 当社の強みと成長戦略 – 人的資本・研究開発・戦略的経営投資 –

- より多様な価値を社会に提供できる体制を整えるため、積極的な成長投資を推進



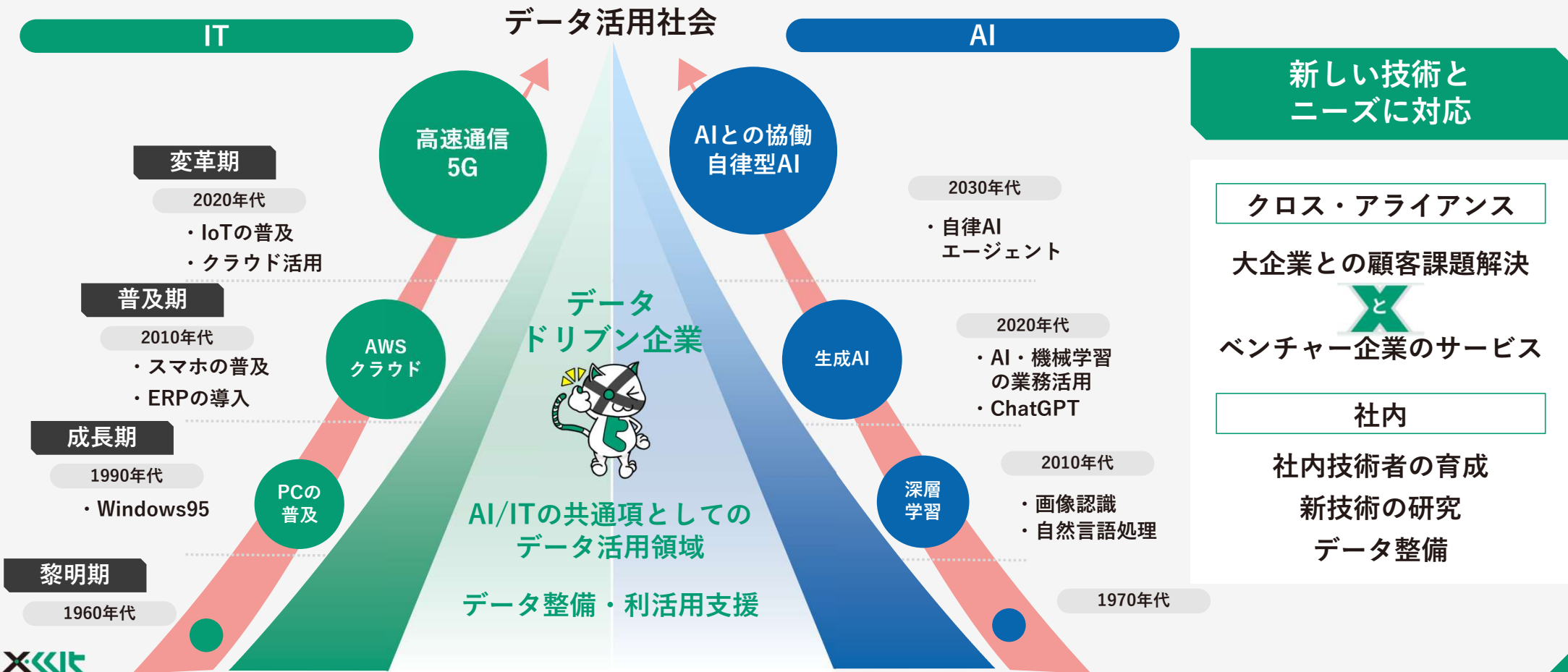
#### 顧客課題解決へ



- ベンチャー企業との協業
- システム開発会社の取得
- AI・DXのサービス開発
- 新領域プロジェクトへのチャレンジ参加
- 社内効率化の研究・開発
- 技術者の教育・研修
- 賃上げ
- 奨学金返済制度などの福利厚生充実

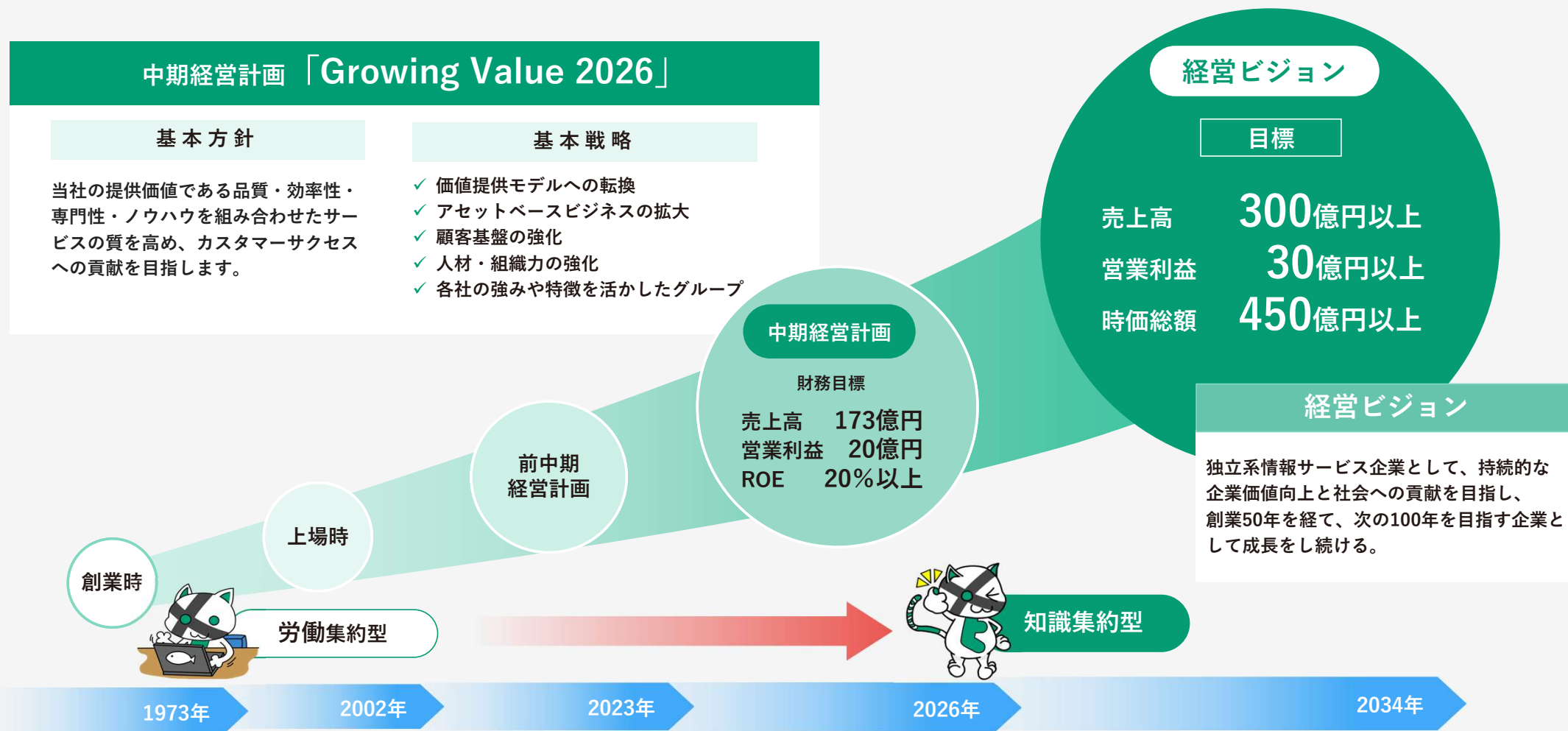
### 3-4. 当社の強みと成長戦略 – 広がる技術的發展 –

- ITの登場と同様にAIの発展は、データ活用社会実現の大きなチャンス



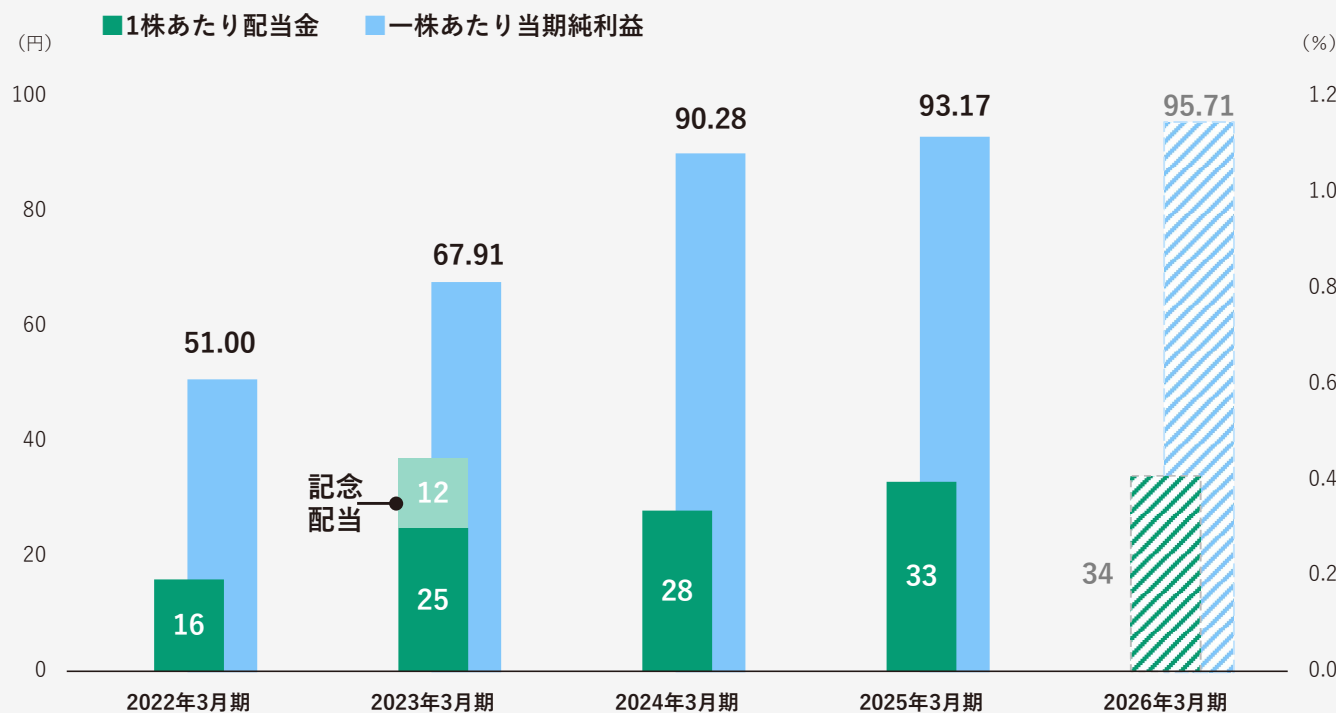
### 3-5. 当社の強みと成長戦略 – 経営ビジョン –

- 50年以上の持続的な成長により蓄積されたナレッジを活用し、知識集約型企业への転換を目指す



## 4. 株主還元

- 企業価値を高めていくために積極的に取り組む「安定配当」と「還元施策」



自己株取得	-	-	907百万円	223百万円	138百万円
自己株消却	-	440百万円	-	-	-

(%)

1.2

1.0

0.8

0.6

0.4

0.2

0.0

### 配当方針

安定的な配当の継続を基本とし、  
**配当性向35%以上**  
を目標とします。

### 株主優待

保有株式数に応じて  
500円～3,000円相当の  
クオカードを贈呈。  
(6,000株以上保有の株主様には  
オリジナルカレンダーも進呈)

## 【第2部】

# 2026年3月期第2四半期 決算概要

## 5. 2026年3月期第2四半期（中間期）連結決算

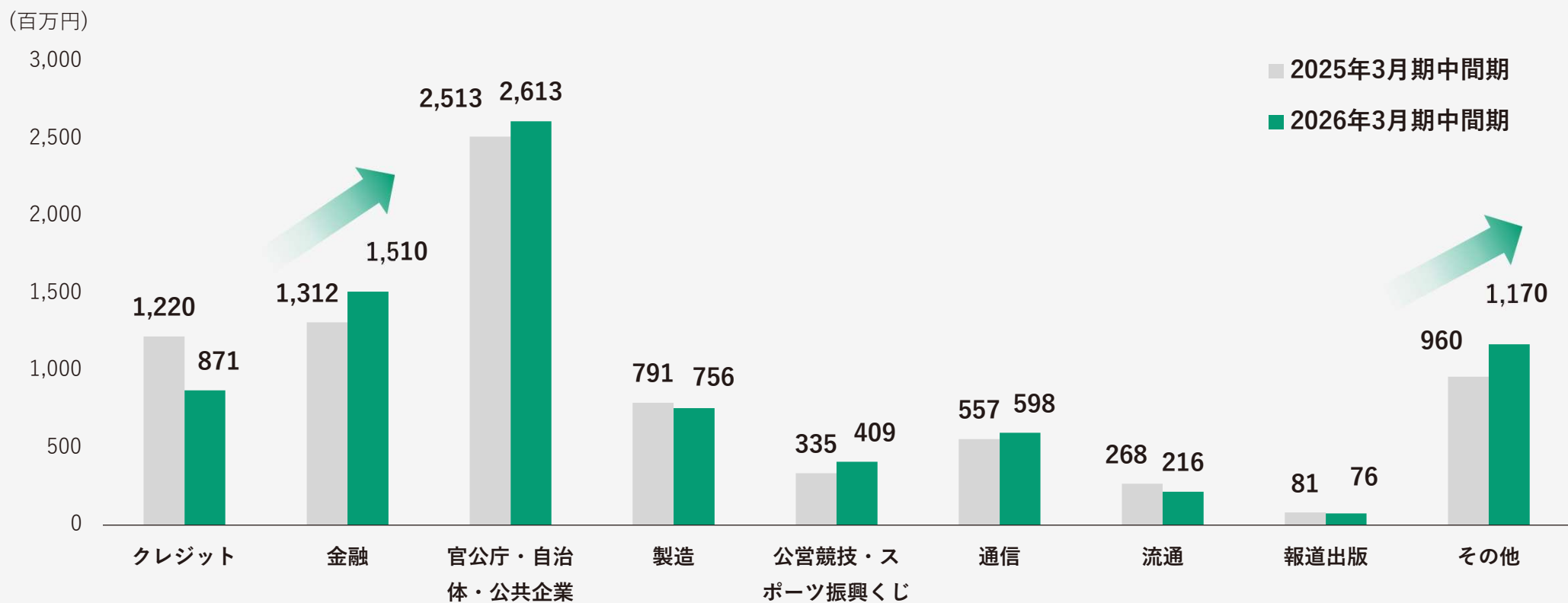
- 売上高は金融、官公庁・自治体・公共企業向けを中心に好調に推移したことにより**期初予想を上回る結果**となった
- 前年同期比でも増収となり**5期連続で上期における過去最高の売上高を達成**
- 利益では受注増に伴い、引き続き高い稼働率を維持できたことや、販管費が計画内に収まったことで**期初予想を上回る結果**となった。また、前年同期比においても増収に伴い増益となった

(百万円、%)

	2025年3月期 中間期		2026年3月期 中間期					
	実績		期初予想※		実績			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前期比	予想比
売上高	8,040	100.0	8,100	100.0	8,223	100.0	2.3	1.5
売上総利益	1,927	24.0	1,890	23.3	1,960	23.8	1.7	3.7
販管費	1,061	13.2	1,130	14.0	1,079	13.1	1.7	△4.5
営業利益	865	10.8	760	9.4	881	10.7	1.8	15.9
経常利益	898	11.2	790	9.8	914	11.1	1.7	15.7
税金等調整前中間純利益	873	10.9	790	9.8	991	12.1	13.6	25.5
親会社株主に帰属する 中間純利益	583	7.3	500	6.2	665	8.1	14.1	33.1

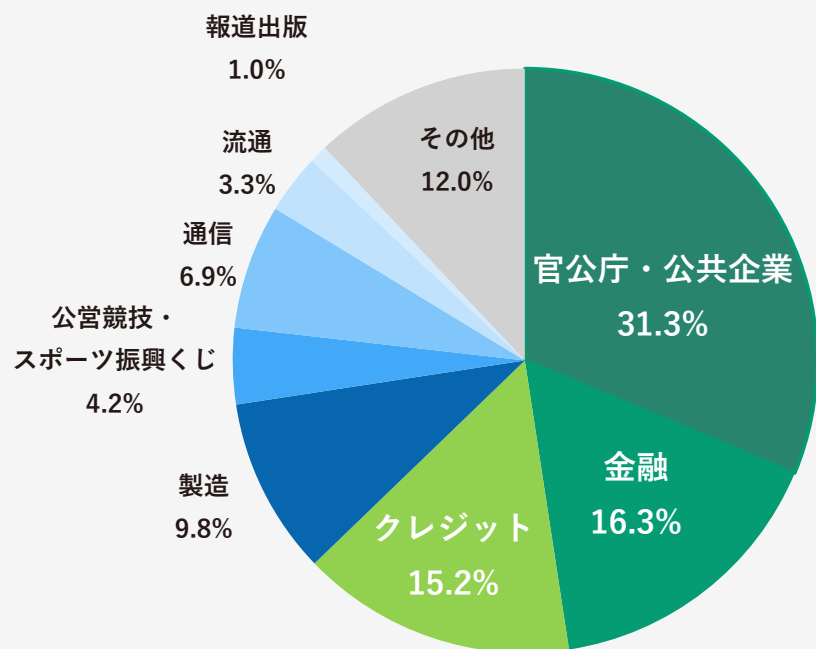
## 6-1. 業種別売上高

- 金融、官公庁・自治体・公共企業向けが好調に推移
- クレジット向けは前年同期に開発が集中していた反動により減少

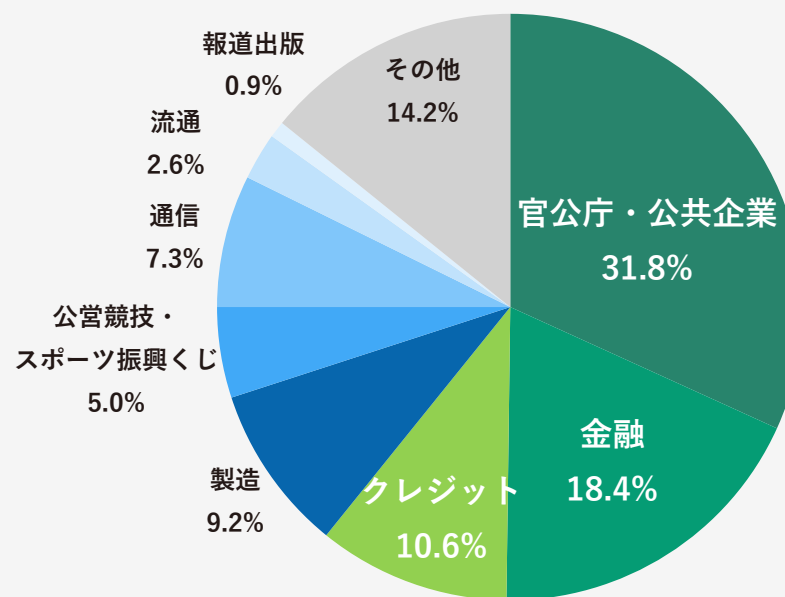


## 6-2. 業種別売上高 構成比

- 金融向けにおいて銀行業務システムの保守サービス等の受注が好調に推移し、構成割合増加



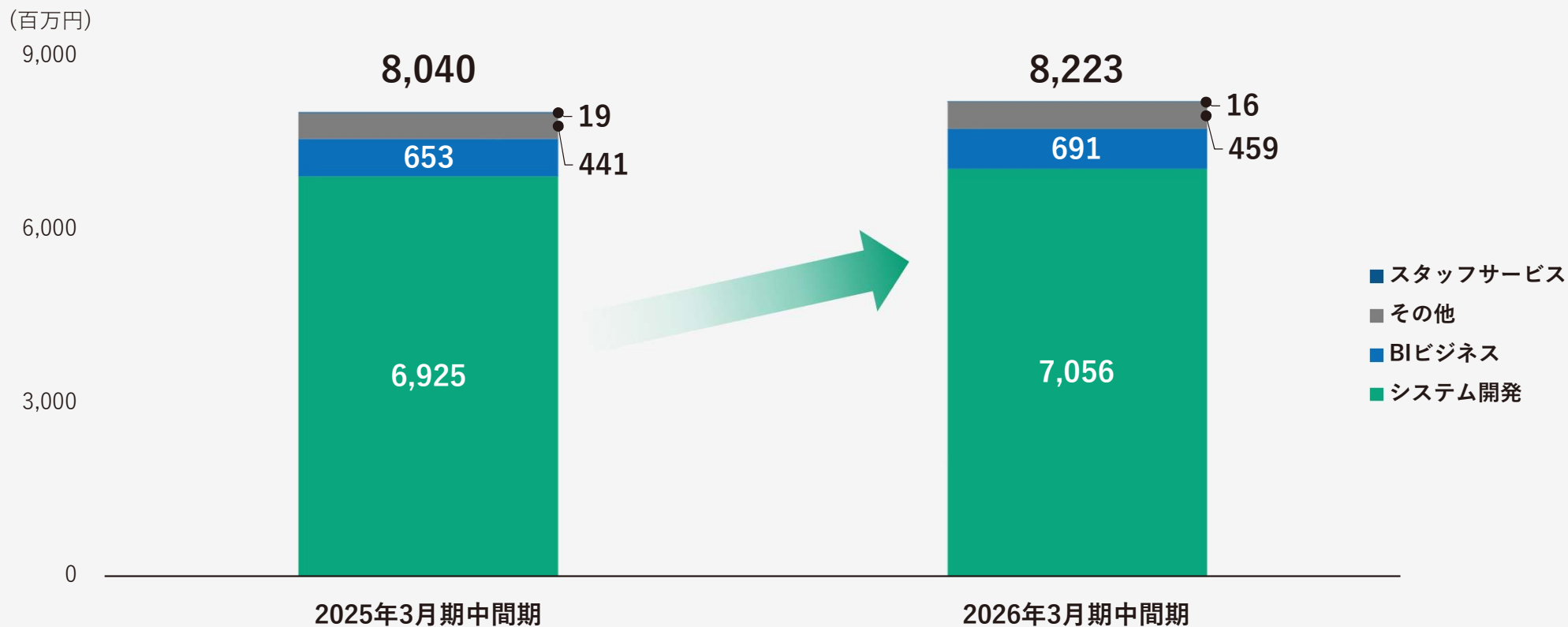
2025年3月期 中間期



2026年3月期 中間期

### 6-3. 事業別売上高

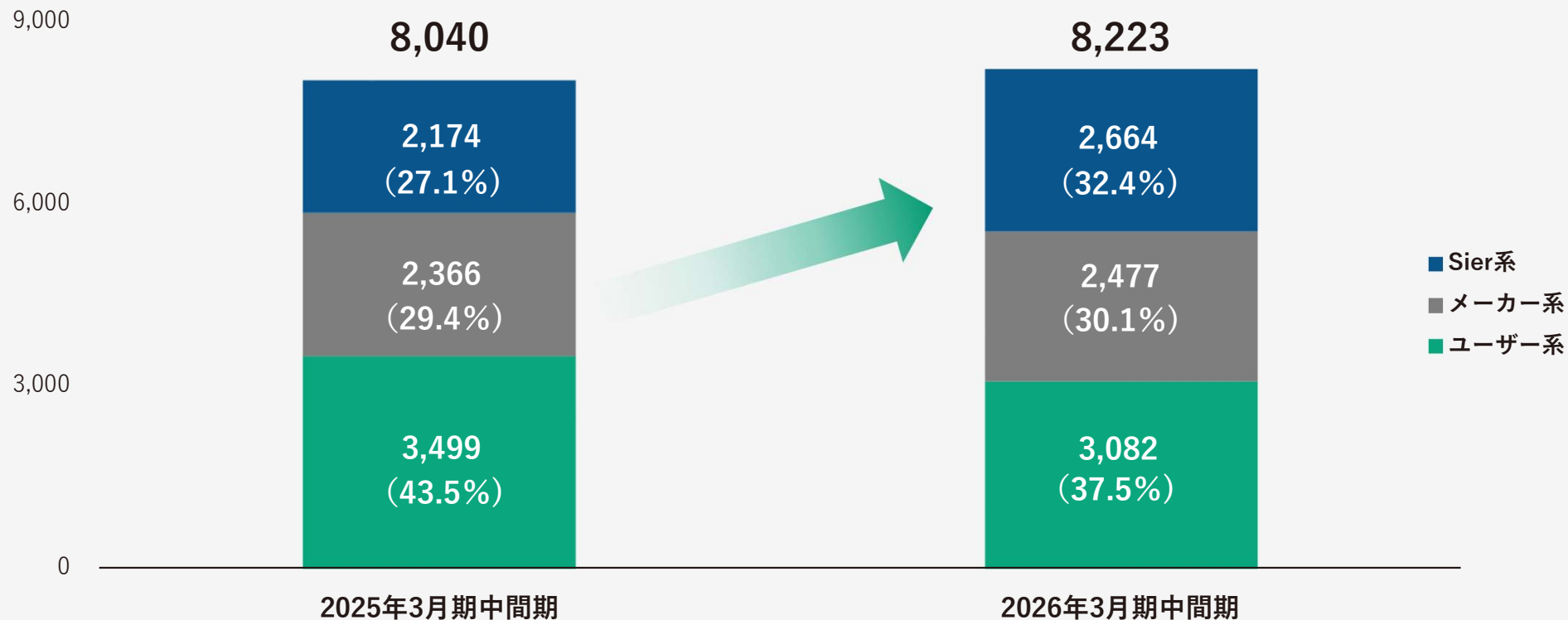
- 「コア事業」を支える金融、官公庁・自治体・公共企業向けシステム開発が堅調に推移
- BIビジネス、その他事業では自社開発システム及びクラウド関連サービスが伸長



## 6-4. 契約先別売上高

- メーカー系にて官公庁・自治体・公共企業向けが堅調に推移
- Sier系にて金融向けが好調に推移

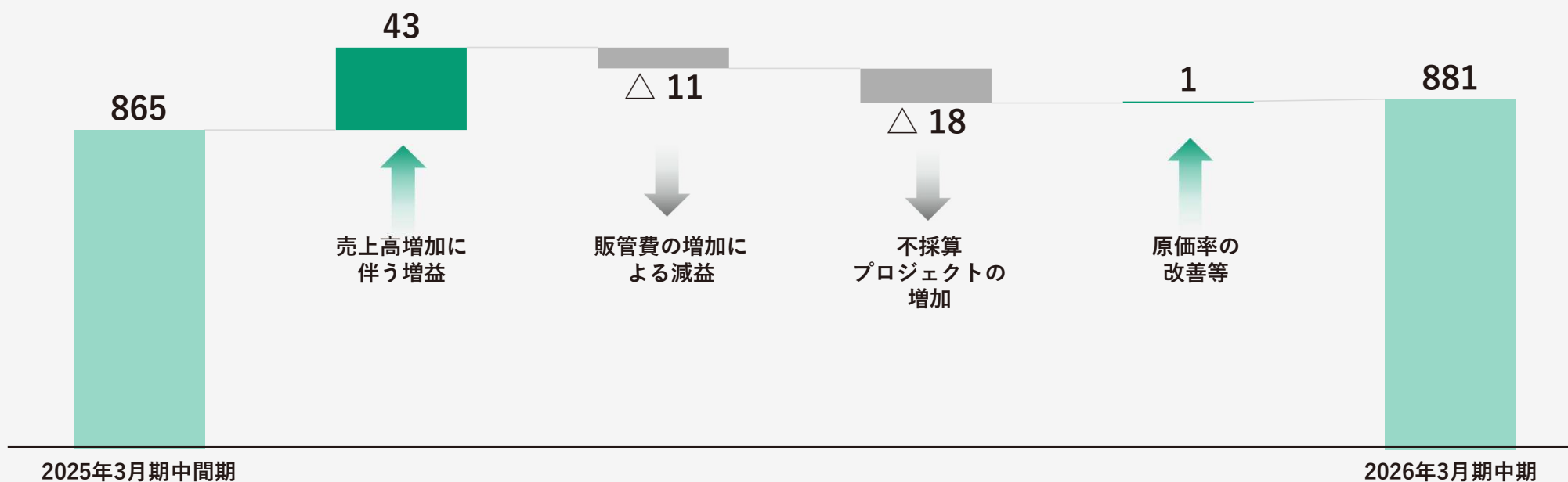
(百万円)



## 7. 営業利益の増減要因分析（対前年同期比）

- 人材育成・確保の一環として賃上げや採用増を積極的に実施したことによる販管費の増加や不採算プロジェクトの発生があったものの、売上高の増加や原価率の改善が上回り、前年同期比で増益

(百万円)



## 8. 2026年3月期第2四半期（中間期） 成長投資の上期実績

- 新入社員の増加及び給与のベースアップ等により人材投資が増加
- 先端技術資格取得の支援、教育カリキュラムの拡充に伴い教育研修費が増加

(百万円、%)

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	増減比
人材投資 ※1	2,925	3,102	177	6.1
教育研修費 ※2	58	68	9	15.6
研究開発費	4	1	△2	△54.0

※1 製造原価及び販管費に含まれるの person 費（給与手当、賞与、法定福費など）の合計。なお、役員報酬等は含まれておりません。

※2 製造原価及び販管費に含まれる教育研修費の合計。

## 9. 2026年3月期 業績予想（連結）

- コア事業の拡大やクラウド関連サービスの拡大により、売上高は約5.6%の伸長を見込む
- 人材確保の一環として、賃上げや教育施策の拡充、“働きやすさ”のためのオフィス環境整備等の投資を積極的に実施

(百万円, %)

	2025年3月期		2026年3月期		
	実績		予想		
	金額	売上比	金額	売上比	増減比
売上高	16,194	100.0	17,100	100.0	5.6
売上総利益	3,846	23.8	4,060	23.7	5.6
販管費	2,009	12.4	2,130	12.5	6.0
営業利益	1,836	11.3	1,930	11.3	5.1
経常利益	1,898	11.7	1,990	11.6	4.8
親会社株主に帰属する当期純利益	1,316	8.1	1,350	7.9	2.5

## \* 本資料についてのご注意

本資料は、当社の業績および今後の業績見通し、経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に掲載されている将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき当社が判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

株式会社クロスキャット  
<https://www.xcat.co.jp/>

お問い合わせ先  
[xcat\\_ir@xcat.co.jp](mailto:xcat_ir@xcat.co.jp)